

農商工連携

田子かわむらアグリサービス

地域資源活用

田向商店(青森)、かめあし(弘前)

本県3事業を認定

東北農政局と東北経済産業局は27日、国が中小企業の商品開発を支援するために創設した農商工等連携事業計画、地域産業資源活用事業計画の認定事業者を発表した。本県からは、2事業で合わせて3事業者が認定を受けた。同日、県庁で認定書交付式を開いた。

国が商品開発支援

認定を受けたのは、

農商工等連携事業で田子かわむらアグリサービス(田子町)、地域産業資源活用事業で田向商店(青森市)、かめあし(弘前市)の2事業者。認定事業者は、試作品開発への補助や、政府系金融機関からの低利融資などの支援が受けられる。

東北経済産業局の担当者から認定書を受け取る事業者

田子かわむらアグリ

サービスは、田子産の

ニンニクを低温熟成し

た「琥珀(こはく)に

んにく」を使った加工

品を開発する。田向商

店は、本県に水揚げさ

れるサメの未利用部分を使ったサプリメントを、かめあしは、摘果リンゴを使ったジュースの開発、販売に向けた事業に取り組む。交付式で、東北農政局食品課の小島始課長は「地域資源を生かし

て、各社の収益向上や地域活性化につなげてほしい」と事業者を激励した。

県内ではこれまで、農商工等連携事業で3事業者、地域産業資源活用事業で5事業者が認定を受けている。